

第19回 日本VR医学会 学術大会 開催プログラム 最終版

8月31日(土)

| | |
|-------------|--|
| 09:30-09:35 | 開会 |
| 09:35-11:05 | 一般セッション1 座長：中尾恵(京都大学) |
| 11:05-11:55 | 特別講演：川上英良(千葉大学大学院医学研究院人工知能(AI)医学) Society5.0時代のデータ駆動型医学研究 座長：中口俊哉(千葉大学) |
| 11:55-13:35 | 昼休憩：企業展示紹介 特徴点マッチングを用いた腫瘍位置合わせ技術：株式会社富士通技術研究所 拡張現実感聴診訓練システム EARS：ケンツメディコ株式会社 |
| 13:35-13:40 | 来賓挨拶：鈴木敦様(経済産業省ヘルスケア産業課 課長補佐) |
| 13:40-14:35 | 一般セッション2 座長：黒田嘉宏(筑波大学) |
| 14:35-14:55 | 企画講演1：木野瀬友人(デジタルハリウッド大学院 デジタルヘルスラボ) VRを活用した無関心層に対する医療啓発の表現例 座長：吉村裕一郎(千葉大学) |
| 14:55-15:35 | 企画講演2：島崎さくら氏(株式会社日本HP) 2019年VR本格始動！VRの歴史とトレンドから医療での利活用を考察する 座長：国近昌裕(東京大学) |
| 15:35-15:55 | 休憩 |
| 15:55-17:15 | 一般セッション3 座長：斎藤季(東京大学) |
| 17:15-17:55 | 企画講演3：下河原忠道(株式会社シルバーウッド VR事業部) VRの医学・看護教育応用： VR認知症体験を通して醸成する person-centered care 座長：小山博史(東京大学) |
| 17:55 | 閉会 |
| 18:15-19:45 | 懇親会(レストランコルザ) |

【発表方法について】

- ・全ての演題はプレゼンテーションのみの発表となります
- ・1件あたり発表8分、質疑応答4分です
- ・発表開始後の時間経過はベルでお知らせ致します(1鈴：6分、2鈴：8分、3鈴：12分)
- ・交代を速やかに行うため、次の発表者は会場右前方の演台近くにて、必ず待機下さい
- ・発表に音声を使用される方は、当日参加受付にて申し出の上、事前に接続確認を行って下さい

プログラム

2019年8月31日(土)

一般セッション1:

- 1-1 拡張現実技術を用いた外科基本手技訓練システムに関する初期検討
永代 友理 (東京大学大学院 医学系研究科)
- 1-2 脳神経外科手術のための物理変形性
バーチャルリアリティ・シミュレーション・システムの開発と臨床経験
宮城 智央 (琉球大学大学院 医学研究科)
- 1-3 Phase Contrast MRI を用いた 4DCG の脳神経外科手術支援への応用
内川 裕貴 (東京大学 脳神経外科)
- 1-4 ポート位置決定支援シミュレータの重畳表示による視認性向上と術具間相対姿勢計測の内蔵化
小口 貴也 (千葉大学 工学部)
- 1-5 多視点腹腔内映像のトラッキングによる三次元パノラマ合成法と提示手法の検討
大野 卓花 (千葉大学大学院 融合理工学府)
- 1-6 有限要素法に基づく顔の表情シミュレーションのための粘弾性モデリング
黒田 嘉宏 (筑波大学)
- 1-7 牽引力錯覚を利用した上肢リハビリテーションの実現に向けた基礎的検討
田辺 健 (産業技術総合研究所 人間情報研究部門)

特別講演:

- S1 Society5.0 時代のデータ駆動型医学研究
川上 英良 (千葉大学大学院 医学研究院 人工知能(AI)医学)

一般セッション2:

- 2-1 放射光大視野顕微 CT による肺マイクロ構造の可視化
仁木 登 (徳島大学)
- 2-2 細線化における適応的短枝除去による CT 画像からの大腸領域抽出の改善
瀧上 千尋 (千葉大学大学院 融合理工学府)
- 2-5 足部軽運動の支援デバイス開発に向けた基礎的検討
一運動強度を調整するパラメータの選択と評価一
細野 美奈子 (産業技術総合研究所 人間情報研究部門)
- 2-6 Virtual reality simulation of robotic pediatric surgery
Saul Alexis Heredia Perez (東京大学大学院)

企画講演 1

- K1 VR を活用した無関心層に対する医療啓発の表現例
木野瀬 友人(デジタルハリウッド大学院 デジタルヘルスラボ)

企画講演 2

- K2 2019 年 VR 本格始動！VR の歴史とトレンドから医療での利活用を考察する
島崎 さくら(株式会社日本 HP)

一般セッション 3 :

- 3-3 Virtual reality 環境における人体解剖の大きさ再現精度評価を可能とする
物体サイズ測定ツールの開発
片山 礼司(久留米大学医学部 医学教育研究センター)
- 3-1 聴覚情報処理障害(APD)に対する訓練用 VR アプリケーション
森田 一平(東京大学大学院 医学系研究科)
- 3-2 拡張現実型聴診訓練システムにおけるカメラ一体型聴診器デバイスの開発
関口 陽太(千葉大学大学院 融合理工学府)
- 3-4 Designing a Virtual Reality-Based Educational Application Related to Stigma on Depression
Lem WeyGuan(東京大学大学院 医学系研究科)
- 3-5 富山大学における医療従事者を対象とした VR 認知症体験の感想
木工 達也(富山大学大学院 医学薬学教育部)
- 3-6 看護師の多重課題に関する教育支援用 VR アプリケーションの開発
佐藤 咲樹(東京大学大学院 医学系研究科)

企画講演 3

- K3 VR の医学・看護教育応用:VR 認知症体験を通して醸成する person-centered care
下河原 忠道(株式会社シルバーウッド)